

# あいあい通信



Matsuda Hospital

AIAT-TSUSHIN

2017.2 Vol.

64

新院長あいさつ	1
松田保秀前院長 最後のメッセージ	2
もっと知ってほしい大腸がんのこと2016 in 浜松	4
30周年記念式典	7
健康づくりイベント2016	8
腸内フローラ相談室	8

# 30<sup>th</sup>

ANNIVERSARY  
松田病院 創立30周年記念式典



## 新院長あいさつ

理事長・院長 松田 聡

このたび松田病院の新理事長・院長に就任いたしました松田聡です。  
昨年、松田病院は皆様に支えられて30周年を迎えられた喜びと、前理事長・院長の松田保秀を亡くした悲しみの両方を味わう、大きな節目の年となりました。  
前理事長・院長はいなくなってもその精神はしっかりと松田病院に根付いています。  
「大腸肛門病のプロフェッショナル」として常に研鑽し、「患者さんにやさしい病院」としてスタッフ一同が常に患者さんのことを思って治療にあたりたい、という思いはこれからもかわりません。より良い松田病院になるようこれからもスタッフ一同邁進していきますので、今までと変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

# 松田保秀前院長 最後のメッセージ

当院前院長の松田保秀はかねてより病氣療養中のところ、平成28年12月18日満73歳にて永眠いたしました。12月25日には松田家および医療法人松愛会の合同葬儀を滞りなく執り行いましたことをご報告申し上げます。ご参列いただきました患者さんをはじめ医療関係者の方々、また、長年にわたりご厚情賜りました皆様方へ感謝申し上げます。

松田保秀前院長は最後まで患者さんのことを考え、その一生を医療に捧げました。ここに松田保秀前院長が生前、「あいあい通信」のために書いておいた原稿を掲載いたします。

## 出血から見た

## 大腸肛門疾患

### おしりから血が…

#### 便潜血検査から何が分かるか？

大腸肛門病は極めてありふれた病気となりました。例えば、大腸がん検診でおなじみの**便潜血検査**が日常行われています。この検査は、便の中の目に見えない血液反応をチェックして大腸がんを早く見つけようというもので、2日間連続して便を採取します。1日でも便潜血が陽性、または十一の時には大腸内視鏡検査を行います。この結果発見される疾患は、当院のデータでは、**異常なし38・9%、痔疾患2・7%、大腸ポリープ29・3%、大腸憩室19・2%、大腸炎7・5%、大腸腫瘍1・0%、大腸がん11・1%**（重複あり）（平成28年）などとなっております。

#### 便秘は健康のバロメーター

最近、便秘異常（便秘、下痢、頻便、残便感など）、下腹部痛などで心配になって受診する方が非常に

多くなっています。多くは便秘ですが、腹部症状と排便障害が組み合わさった時に最も頻度が多いのは**過敏性腸症候群**（大腸検査では異常がないのに、腹痛、腹部膨満、下痢、便秘があり、自律神経の不調と考えられる）でしょう。便の回数が増えた、便が細くなったり形が整っていない、排便後も残便感がありすっきりしないなどの症状は要注意です。

#### 血便はほっておけない！

そしてなんとといっても、最も注意が必要なのは**血便**です。排便後紙に血がつく、便に血が混じる、排便後ぱたぱた出血する、便器が血で真っ赤になるなどいろいろな場合があります。これらの症状は早急に診察を必要とする急性状態と、一週間くらは余裕の持てる慢性状態に分けられます。

そこで、目に見える出血があった時には、必ず精密検査をしなければなりません。どんな病気が



故 松田保秀

の可能性があるか考えてみましょう。

## 肛門出血アラカルト

まず、便器にシユーと音がして血が飛んだり、ぼたぼた落ちる出血はまず**痔核**（いぼ痔）か**裂肛**（切れ痔）です。排便時の痛みや脱出があればなお診断は確実です。

便に血が混じったり、血液そのものが下痢状または固まりになってでてくる時（下血）は**大腸炎**（びらん性大腸炎、潰瘍性大腸炎、虚血性大腸炎、大腸憩室出血）を、比較的静かに出血する場合は**大腸がん**を疑います。

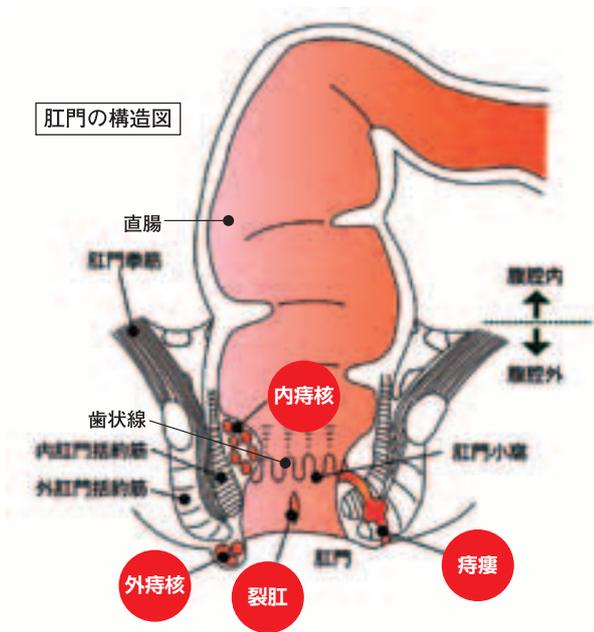
基本的におしりから血が出るということは、左側大腸から肛門までの間の病変がほとんどです。従って大量の出血の時は真っ赤な血液が出ます。赤黒い場合は大きなポリープや進行がんからの出血が疑われます。ただし、食道・胃・十二指腸など上部消化管からの大量出血の場合は、2〜3時間毎に大量下血を認めますし、吐血もみることがあります。

その他、最近増加傾向にあるのが**炎症性腸疾患**（潰瘍性大腸炎、クローン病、感染性大腸炎）

です。この時の出血は潰瘍性大腸炎の直腸炎型では軽度、左側大腸炎型では中等度、全大腸炎型では大量〜中等度です。クローン病では一般的には出血は低頻度ですが、小腸・大腸潰瘍からの出血が起こった時は輸血が必要な時もあります。感染性大腸炎では軽い下血で、むしろ下痢が目立ち

ます。

最近、中高年に増えてきた**大腸憩室**は日本では右側・左側大腸の両方に発生するケースが多く、何の前触れもなく突然下血を起こすことが多くなっています。しかし、多くは1週間以内に保存的治療で止血できる例がほとんどで、出血による緊急手術は稀です。



## 痔疾患の出血

**痔核**（いぼ痔）では内痔核からの出血はよく見かけますが、やはり痔核が大きく脱出が顕著な人に多い傾向があります。痔核は一種の血液をたづぷり吸い込んだスポンジみたいなものですから、できただけ早く治療しないとポタポタした出血が2週間も続けば貧血になります。

痔核治療は、**注射療法**または**切除療法**が一般

的で、外痔核や皮膚のたるみが大きい時、さらに20〜30年以上の永続性を望むなら切除療法が一番です。注射療法は入院期間が1泊2日と短期で痛みもなく、すぐに職場復帰を希望される方には最適です。

**裂肛**（切れ痔）の出血は便を出しきった後に起こり、多くは肛門前方や後方が裂けたもので、ポタポタとかなり激しい時もあります。排便が終われば自然に止血しますので、まずは安静・生活習慣の改善と薬物療法が基本です。1ヵ月ほどの治療でほとんどは改善します。手術が必要なのは、慢性化して肛門が狭くなった時や裂肛が難治性の時です。

## アドバイス

一番大切なのは、肛門病変が治っても出血が治まらない時です。その時は必ず大腸検査を行って下さい。いずれにしても肛門から血が出る時は自己判断をしないで専門医の診察を受けられることをおすすめします。





もっと知ってほしい

# 大腸がんのこと

2016 in 浜松



2016年11月6日、アクトシティ浜松コングレスセンターにおいて、NPO法人キャンサーネットジャパン共催のもと、「もっと知ってほしい大腸がんのこと2016 in 浜松」と題し、松田病院30周年記念市民公開講座を開催いたしました。

当日は当初の予定を上回る300名を超える方のご来場をいただき、当院から松田聡院長をはじめ、田中荘一医師、新井賢一郎医師、新屋善朗看護師、および東京医科歯科大学からお招きした石黒めぐみ医師の各講演をいたしました。講演では大腸がんの診断と検査、手術法、化学（薬物）療法、ストーマ（人工肛門）などの最新情報や、消化器系専門病院である当院の治療内容が盛り込まれ、長時間の講演にもかかわらず皆さま真剣に耳を傾けられています。講演の後には、このたびご協賛いただいた医療器具や乳酸菌飲料などの各企業ブースをご覧いただき、大盛況のうちに終了しました。今回は、この中からストーマについての講演内容をご紹介します。



皮膚・排泄ケア認定看護師  
新屋善明 Yoshiaki Shinya

## ストーマ（人工肛門） オストメイトって何？

### ストーマ（人工肛門）とは

ストーマという言葉が聞かれたことがありますか？ストーマとは、手術によってお腹につくられた便や尿といった排泄物の出口のことを言い、ギリシャ語で「口」を意味します。

便の出口を人工肛門、尿の出口を人工膀胱と言います。「人工」と言っても何か特別な器具をお腹に埋め

こむのではありません。ご自身の「腸」「尿管」をお腹の外に出して排泄物の出口としたものです。人工肛門の外に出して排泄物の出口としたものです。人工肛門は主に、直腸がんなどの手術で肛門を切除した場合や、手術で縫い合わせた腸が完全に繋がるまでの間、腸を保護するために必要となります。



人工肛門

### △ストーマの種類について▽

(臓器による分類)

- ・大腸のストーマ：コロストミー
- ・小腸のストーマ：イレオストミー

(期間による分類)

- ・永久ストーマ：生涯ストーマ
- ・一時的ストーマ：腸を元に戻して肛門から排泄できるようにするまでの間

(形による分類) ※大きく2つに分かれます



- ・単孔式ストーマ(出口が一つ)：おもに永久ストーマ
- ・双孔式ストーマ(出口が二つ)：おもに一時的ストーマ

### ストーマ装具について

人工肛門には「便をためる」「我慢する」といった働きがなく、便意も感じません。そのため、自分の意識と関係なく人工肛門から便がでてきます。そこで、必

要になるのがストーマ装具です。ストーマ装具は面板と



ストーマ袋でできており、ストーマ袋に便がたまり(＝便意)、ストーマ袋の下の出口(＝肛門)が各機能を果たす役割を担います。

- ・面板：お腹に貼る(皮膚を守る作用がある)
- ・ストーマ袋：便、おならをためる

(臭いが漏れない加工がされている)



### オストメイトとは

ストーマ保有者の方のことを「オストメイト」といいます。オストメイトは日常生活に支障・制限があるのではと思われるかもしれませんが、決してそういうわけではありません。



食事にに関して特に制限はありません。もちろん、腸を切除するなどの手術をされた方は腸閉塞に気をつけた食事をする必要があります。入浴に関しても制限はありません。装具を



装着したまま入浴していただけます。ストーマ袋の便をあらかじめトイレで捨ててから、袋を巻き上げクリップなどで留めると湯船で袋が浮いたりせず、また目立たなくすることができます。装具を外し

ての入浴も可能ですが、便が出にくい時間帯(食後2〜3時間)に入るなどの工夫が必要です。公衆浴場などでは、必ず装着したまま入浴するようお願いいたします。運動の制限もありません。マラソン、ゴルフや水泳などをやっている方もいらっしゃいます。旅行なども問題ありません。

このように、オストメイトだからといって特別な制限があるわけではないのですが、外見では分かりづらい内部障害であるため、社会的な理解が十分に得られていない部分があります。実際に、公衆浴場では入浴を断られた方がいらっしゃいます。装具を正しく装着していれば衛生上何の問題もありません。入浴施設と他の入浴客のご理解と温かい目がとても大切なのです。公衆トイレも同じです。最近では、ショッピングセンターや高速道路のサービスエリアなどにオストメイト対応のトイレが増えてきましたが、ここでも、白い目で見られたなどといった辛い目にあわれた方がいらっしゃいました。ストーマ装具を交換する際には、このような多機能トイレを利用しなければいけない時があります。決して、好き勝手に入っているわけではないことを理解してほしいのです。

親族やお友達など周囲の方々に伝えたいことで、



少しずつ理解が広がっていきます。是非皆様のご協力をお願いします。

## ブルーリボンキャンペーン

今回共催いただいた「ブルーリボンキャラバン」は、大腸がんについて広く皆様に知っていただき、大腸がんになっても健やかに暮らせる社会を目指して全国各地を回っています。この活動に積極的に参加されているという、今回の総合司会者でフリーアナウンサーの中井美穂さんにお話をうかがいました。

### ブルーリボンキャンペーンとは？

NPO法人の「キャンサーネットジャパン（CNJ）」による大腸がんの啓発運動です。



フリーアナウンサー  
中井美穂さん

### 乳がんの啓発運動のシンボル「ピンクリボン」は有名ですが、大腸がんは「ブルーリボン」…？

そうです。「ブルーリボン」は大腸がんの啓発シンボルで、2011年より始まった市民向け講演「ブルーリボンキャラバン」もっと知ってほしい大腸がんのことは、今年で6年目になります。毎年3月は大腸がん啓発強化月間です。皆さんぜひ覚えてください。

### 参加されたきっかけは？

実は、私は13年前（2003年）に腹膜炎という病気で大腸の一部を切り取る手術が必要になり、1年間だけ人工肛門（ストーマ）での生活を送りました。その当時の、私の担当の先生がCNJと関わりを持っていて、私を活動に誘ってくださったのがきっかけです。

### 治療中もお仕事をされていたとお聞きしましたが？

ストーマでの生活は“便意を感じない”ため、自分の意識で排便をコントロールすることができず、収録中

に臭いなどを気にしてしまい戸惑う事もありましたが、治療を通して自分の臓器（大腸）を目の当たりにして、親しみが湧いてきたんです。自分のお腹に向かって「しっかりと働いてくれて、ありがとう」と言ってみたり……。そこで気持ちが少し楽になりました。あと、俳優の渡哲也さんが、大腸がんでストーマであることを告白し活躍されていたので、それも励みになり、私も乗り越えられるだろうというのもありました。そんな経験から、大腸がんにも興味を持つようになり、ブルーリボンキャラバンに参加しています。

### どのような活動をされているのですか？

主に、講演会での司会のお手伝いをさせていただいています。日本では、大腸がんの患者数は年々増加しています。日本人にとっては「もとも身近ながん」と言えます。そして、その治療法は飛躍的に進歩していて、とても複雑になっています。そこで、検査のこと、手術のこと、化学療法にストーマのことなど……大腸がんについて正しい情報を分かりやすくお伝えしたい。さらに、正しい理解のために家族の方にも、あるいは早期発見のために患者さんでない方にも関心を持ってもらいたい。そんな思いで活動しています。



# 30周年記念式典

12月3日には松田病院 30周年記念式典が行われました。当院に在籍された先生方にお祝いのお言葉を頂きましたので一部ご紹介いたします。

## 金子 寛先生 (平成12年～15年)

クリニックかねこ 院長  
(浜松市北区細江町中川7172-1703)



30周年おめでとうございます。私は初代の建物の時代からパートとして、開業(日15年)前の約3年間は常勤としてお世話になりました。上部・下部内視鏡検査、胃・大腸・肛門の手術など、消化管の診療を学びました。本当にありがとうございます。今後も、静岡県の大腸・肛門病専門病院として発展していって下さい。

## 小原 誠先生 (平成6年)

OHARA MAKOTO 大腸肛門科クリニック 院長  
(静岡市清水区宮加288-1)



私が松田病院に勤めていたのはもう20年も前なのですが、その時の経験がなければ、今の自分はなかったと思えるほど貴重なものでした。松田保秀先生は、懐の深い、人を育てることのできる先生だと思います。そうした人柄ゆえに、多くの先生達が松田病院で学び、巣立ち、多方面で活躍しているのだと思います。今回、ご子息である聡先生にバトンタッチされたわけですが、僭越ながら少しでもお力になれるよう応援させていただきます。

## 大森 斉先生 (平成11年～12年)

おもり幸町クリニック 院長  
(茨城県筑西市玉戸1270-95)



新院長のもと、新たな体制での更なる30周年を迎えられることを心から祈念いたします。医療政策も、医療制度も、医療体制も日々変わっていくと思いますが、松田病院の良さは、オープン・マインドで来る人を拒まないことだと思っています。今後も、松田保秀先生のこの心をつないでいただけたら幸いです。60周年記念も是非お声かけください。点滴瓶ぶら下げて参加します(笑)。

## 浅野 道雄先生 (平成12年～25年)

あさのクリニック 院長  
(浜松市南区高塚町1628-1)



30年前、松田保秀先生が43歳で松田病院を開設されて以来、一貫して地域医療、後進の育成・輩出、医学の進歩のために尽力されてきたことを改めて感じさせられます。私のクリニックは開院してようやく3年が経過したばかりですが、13年間お世話になった松田病院の名に恥じないよう、精進していきたいと思っています。

## 中岡 譲治先生 (平成14年～15年)

中岡クリニック 院長  
(浜松市東区積志町995)



”エキセ〇トリッ〇”な、或いはじゃじゃ〇の様な人達をどうやって院長がうまく管理するのですか?と尋ねたら「中岡先生は大変面白い質問をしますね。職員が聞いたら皆怒りますよ(大笑い)」。見方を変えれば、個性あふれる才能豊かな愛すべき人達なんです。良いところを見てあげて才能を伸ばして育てていく事が大事なんですね」と、いつもの優しい松田保秀先生の笑顔。

## 矢野 孝明先生 (平成19年～24年)

ヤノ肛門外科クリニック 副院長  
(香川県高松市亀井町1-7)



私は5年間在籍させていただきましたが、現在行っている診療のほぼ全てを松田病院で学びました。肛門手術を含めた多くのノウハウを惜しげもなくご教示下さった松田保秀先生や病院スタッフには感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともこれまでと同様に肛門科を志す医師にその卓越した医療を伝授し、肛門科専門医のメッカとして発展・継続されることを期待します。

# 健康づくりイベント2016



2016年9月30日に、雄踏協働センター（雄踏文化センター）で市民の皆様に向けて「健康づくりイベント2016」を行ないました。金曜日の夜でしたが、多くの方にお集まりいただきました。当日は川上和彦副院長の講演と、体験コーナーを設け、血管年齢測定や超音波などの検査を実際に体験していただきました。講演では、話題の腸内フローラについて、「腸内細菌」との上手な付き合い方や、最期まで幸せに生きるコツなどをお話ししました。

体験コーナーでは、機器の故障といったトラブルもありましたが、市民の皆様と触れ合える良い機会となりました。今後このような機会を設けていきたいと思えます。

● ● ●  
なお、木曜日の午後には予約制で「腸内フローラ相談室」（保険外診療）を開設しておりますのでこちらもご利用ください。



## 編集後記

広報委員会 渡部真一



松田病院は昨年30周年を迎えましたが、公開講座共催のブルーボンキャラバンも30回目だったそうです。公開講座では難しそうな演題が並んでいましたが、内容は大変わかりやすく、聞き入っていました。あつという間でした。また、司会の中井美穂さんは開演直前にも関わらず快くお話しして下さいました。この講座を通して、正しい情報の大切さや、大腸がん撲滅への熱意が伝わってきました。ひよっとしたら、大腸がんの撲滅は不可能ではないかもしれませんね。

### 腸内フローラ相談室

相談日 毎週木曜日 14:00～16:00  
(予約制)

担当 副院長 川上和彦

相談室利用料金(税別)

※2回来院していただきます。※保険外診療です。  
初回(初診時) 1,000円 +  
検査キット代(17,000円など)

2回目(検査結果説明) 2,000円

病気ではなさそうなのに、便臭異常(トイレの後いつも臭いと言われる)、排便異常(よく下痢をする、あるいは排便は2～3日に1回だけけど体質だからしょうがないと思ってる)、健康に自信が持てないなど、腸内細菌を専門的にチェックし、腸との関わりを探ることが出来ます。そして、腸内細菌とうまく付き合うことにより、病院に行く機会が減り、副作用が心配な薬剤治療から解放され、人生をより豊かで楽しいものに変わっていきますよ。



## 診療のご案内

●患者さんへお願い● 月1回、必ず保険証の提示をお願いいたします。

### ■ご来院の際には事前に予約をお取り下さい

◇ご予約はお電話でも承ります。◇受診当日のご予約も可能な限り承ります。外来診療は予約の方を優先させていただきます。予約のない方はお待ちいただく時間が長くなる場合があります。※急患の方はこの限りではありません。

胃腸・肛門外科	受付時間	月	火	水	木	金	土
	8:30～11:30	●	●	●	●	●	
	8:30～12:00						●
	14:00～16:00	●	●	●	●	●	

その他の診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
		IBD(炎症性腸疾患)外来				●	
ヘルニア外来	8:30～11:30		●				●
排便機能外来							●
内科相談				●			
ストーマ外来				●	●	●	●
女性専門外来	11:00～11:30					●	
血管外来	14:00～15:30		●*		●		

泌尿器科相談は2016年12月を以て終了しました。  
※火曜日の血管外来は2017年3月を以て終了します。



特定医療法人 松田病院  
社団 松愛会

〒432-8061 浜松市西区入野町753番地  
TEL.053-448-5121(代) FAX.053-448-9753

JR=浜松駅下車 タクシーで10分 高塚駅下車 タクシーで5分  
バス=浜松駅バスターミナル5番ポール(宇布見、山崎行)乗車  
東彦尾または西郵便局下車 徒歩5分 駐車場 180台

E-mail cra@matsuda-hp.or.jp  
ホームページ https://www.matsuda-hp.or.jp

(発行/松田病院広報委員会)